

散歩と薔薇

五月末から六月にかけて市内あちこちで丹精込めて育てられた薔薇が美しい花を咲かせ、芳醇な香りを放っています。そんな薔薇を戦国最強の騎馬軍団を率いて勇名を轟かせた武田信玄が愛でていた、と言うと意外だと思われるかも知れません。でも実際、信玄は、「座敷の庭にいっぱい薔薇を植えて、その香りと色を楽しんだ風流人」だったそうで、「薔薇」と題した漢詩も残しています(注)。そして最近、そんな美しい薔薇の花々に囲われた瀟洒(しょうしゃ)な佇まいの家のわき道が、私の散歩のコースに定着しつつあります。

五月末で新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は全面解除されましたが、それまでは、外出は極力控え、人と会うことも自粛する毎日。部屋の中で過ごす事が多くなり、運動不足になりました。このままでは悪循環に陥りかねないと、生活習慣を見直して始めたのが、早朝散歩の復活です。朝の散歩は、市長に就任した年の秋、先輩市長から健康法としてその効用を教えてもらったことがきっかけで始めました。その後、6、7年はほぼ毎朝歩いて体調管理をしていたのですが、だんだんと朝起きられず、散歩に出る日も少なくなりました。それを復活して新型コロナウイルス感染防止に対応した私の「新たな日常」とすべく、習慣づけようと頑張っています。

特に晴れた日には、朝起きて窓を開け、新鮮な空気を部屋に入れて感じるだけで、細胞の何分の一かが新しく生まれ変わる気がします。そして着替えて外に出て、薔薇の家があるお気に入りのコースを通り、折り返し点で少し運動をして身体をほぐして、近く的地蔵に願いごとをして戻って来ます。その行き帰りに薔薇の花に少しだけ近づき、芳香を感じてコロナの憂いを払い、健康を確認するのです。時に、文武両道に秀でた戦国武将が愛でた薔薇はどんな色や香りだったのか、と想像しながら朝の散歩道を楽しんでいます。

(注)「漢詩のころ 日本名作選」(林田慎之助 講談社現代新書)から引用。

(写真出典元)

牡丹バラ 山椒バラ
香川県指定有形文化財「衆芳画譜 花果 第五」より
高松松平家歴史資料(香川県立ミュージアム保管)

